

| 都道府県名 | 施策実施の予定について<br>(問4及び問5) |           | 施策のカテゴリー<br>(問3:現在及び過去について上段 問6:未来につ |         |         |              |         |     | 施策内容  |   | 実施内容  | 評価  |   |
|-------|-------------------------|-----------|--------------------------------------|---------|---------|--------------|---------|-----|---|---|---|---|---|
|       | 有機農業推進法への対応             | 有機農業者への支援 | 技術                                   | 消費者への広報 | 生産者との交流 | 施策の実施者のための実施 | 民間活動の支援 | その他 | 計画名   | 実施期間  |   |   | 目的  |
| 北海道   | 検討中                     | 実施        | 実施                                   | 実施      | 実施      | -            | 実施      | -   | 有機農業総合推進事業  | 1)平成16-18年度<br>2)平成19-21年度  | 1)有機農業は、安定生産技術が確立していない、技術を習得する場が少ない、販路が限定されているなど、様々な生産・流通上の課題を抱えている。しかし、安全・安心な農畜産物を求める消費者ニーズへの対応と、環境にやさしい北海道農業の推進、あるいは外食産業との連携による付加価値の創出など、有機農業は新たな時代の北海道農業を構築する上で多くの可能性を秘めており、より一層の拡大・普及を図る必要がある。このため、消費者に対する普及啓発、消費者と生産者との連携促進、有機農業の研修強化及び安定生産を支える技術開発などの施策を総合的に実施する。<br><br>2)化学肥料や農薬を原則使用しない有機農業は、安全・安心な農産物を求める消費者の関心が高いが、修了が不安定であること、生産者間の連携、民間市場の形成などの面で多くの課題があり、消費者ニーズに対応し、道内における有機農業の取り組みを普及・拡大するためには、生産から流通に至るこれらの課題に対応した取り組みを推進する必要がある。このため、有機農産物の安定生産に向けた生産体制の確立、消費者に対する理解の促進、生産者、流通・製造業者等が連携・協働した販路の確保、生産流通技術の効果的な普及などの施策を実施する。 | 1)有機農業の推進指導<br>有機畜産の理解促進<br>消費者セミナーの開催<br>生産者と消費者等の交流促進<br>有機農業を推進するネットワークづくり<br>研修機能の強化<br>技術普及・広報活動<br>有機農業の技術開発<br><br>2)地域生産者ネットワークの構築<br>実践技術等の重点指導体制の構築<br>有機農業推進計画の策定<br>有機畜産実践経営の確立<br>消費者等の交流・理解の促進<br>生産流通技術や情報の普及啓発の促進<br>実践的研修耐性の整備   | 1)有機農業技術の開発(平成16~18年度)については、「ばれいしょ、水稲、たまねぎ、かぼちゃの有機栽培における生産安定化」など、計10課題について開発に取り組んだ。   |
| 青森県   | 検討中                     | 実施        | 実施                                   | 実施      | -       | -            | -       | -   | 1)「有機の郷づくり地域」指定<br>2)元気なおもりエコ農業人の育成<br>3)水稲の青森型有機農産物等栽培技術の確立<br>4)産の安全・安心出前セミナー<br>5)青森県農林水産祭<br><br>※有機農業に特化した政策ではなく、環境保全型農業全体の施策として実施 | 1)平成16年度-<br>2)平成18-20年度<br>3)平成14-18年度<br>4)平成18年度-<br>5)平成14年度- | 1)有機農産物や特別栽培農産物等の生産・販売を一層推進していくため、有機農業等に取り組む意欲の高い市町村等を「有機の郷づくり地域」として指定し、地域内の生産・販売体制の強化の取組みを支援する。<br>2)有機農産物、特別栽培農産物等の生産に取り組むエコ農業人の育成<br>3)化学合成農薬に代わる病害虫や雑草除去及び化学肥料代替となる有機質資材を活用した栽培法を検討し、安定的な減農薬・減化学肥料栽培や有機栽培技術の確立を図る。<br>4)消費者等を対象に県民が食に関する正しい知識を習得し、食の安全・安心確保に対する意識を高めて、健康でおいしいある豊かな食生活を築いていく。<br>5)生産者が直接、消費者に対して有機農産物等を販売することにより、消費者の理解促進を図る。   | 1)あおもり「有機の郷」拡大案件整備事業<br>あおもり園芸産地育成総合整備事業<br>(有機栽培等の生産に必要な土づくり用機械、栽培管理用機械等の導入に対して、事業費の1/3助成)<br>2)JAS有機栽培の指導・研修<br>エコ農業クラブの開催<br>現地スキルアップ交流会の開催<br>3)技術の開発(検討)<br>実証試験<br>産直計画<br>4)県内3箇所において「環境に優しい農業」をテーマに有機農産物をはじめとする各種制度などについて消費者・生産者・食品事業者などを対象にセミナーを実施<br>5)青森県農林水産祭の産直市において有機農業者に対して販売スペースを提供 | 1)2)3)エコファーマーや特別栽培農産物が増加し、有機農業等に取り組む底辺が拡大した。<br>3)試験によって得られた成果は発表会や県内向け雑誌などで発表し、技術普及を図っている。<br>4)県内3箇所全体で163人の参加者に対して有機農産物等の普及啓発を図ることができた。<br>5)対面販売により、有機農業者と消費者の相互理解につながった。 |
| 秋田県   | 検討中                     | 検討        | 検討                                   | 検討      | 検討      | 検討           | 検討      | 検討  | 将来検討する可能性あるものとして記入<br>あきたブランド認証制度   | 平成17年-  | 県内に有機農産物認証機関を設置し、有機農産物生産の利便性を向上させるとともに、安全安心ブランドとして消費者や流通関係者へ広く紹介する。   | JAS規格に基づく有機農産物の認証。<br>県産ブランドとしてパンフレットの配布等による販売促進活動。   | 有機栽培認証者数が増加している。  |
| 山形県   | 検討中                     | 実施        | 実施                                   | -       | -       | -            | 実施      | -   | 山形県農林水産業振興計画  | 平成12年-  | 活力ある豊かな農業県を実現するため   | 環境と調和した農業の展開と競争力の高い農林水産業を推進するため、耕畜連携による全果〇〇エリア構想の実現を目指している。この中で、環境負荷軽減に向けた有機農産物、特別栽培農産物及びエコファーマーの生産振興のため技術開発や認証の支援をする。  |   |
| 岩手県   | 検討中                     | 実施        | -                                    | -       | -       | -            | -       | -   | 有機農産物等アドバイザー派遣事業  | 継続中   | 有機農産物等の生産拡大に対して、栽培管理方法、認証制度、流通・販売対策に精通する者を登録(知事選定)  | 生産者等の要請に応じて派遣。  | 現在、登録数は24名。   |
| 宮城県   | 検討中                     | 実施        | 実施                                   | -       | -       | -            | -       | -   | みやぎ食と農の県民条例基本計画   | 平成13-22年度   | 「生活者の求める安全で安心な食糧の安定供給」「農業の持続的な発展」「多面的機能の発揮」「農村の総合的な振興」の実現を図る。   | みやぎの環境にやさしい農産物認証・表示制度等の展開<br>環境負荷低減利用技術の普及<br>エコファーマーの活動支援等<br>(目的のうち「生活者の求める安全で安心な食糧の安定供給」を実現するため)   | 環境にやさしい農産物認証・表示面積平成22年目標<br>25,000ha<br>※JAS有機及び県特別栽培農産物栽培面積含む。   |
| 福島県   | 検討中                     | -         | 実施                                   | 実施      | 実施      | -            | -       | -   | 環境保全型農業の中で、有機栽培等を推進している。  | 平成16-20年  | 自然環境を守り、限りある資源を循環し利用する循環型社会形成への寄与や消費者等ニーズに対応した安全・安心な農産物の供給、また本県農業・農村の振興を図る観点から、環境に配慮した有機栽培及び特別栽培の普及拡大による産地づくりを推進する。   | 実証試験による有機栽培等への技術の検証・実証展示及び推進活動。<br>試験研究期間での有機栽培技術に関する試験研究。<br>生産者と消費者との現地交流会等の実施。<br>有機農業関連制度等に関する研修会等の開催、資料の作成・配布。   | 有機農業に限った目標はない(環境保全型農業ではエコファーマー数を目標値としている。)  |
| 茨城県   | 検討中                     | -         | -                                    | -       | -       | -            | -       | -   | 過去の施策なし   |   |   |   |   |
| 栃木県   | 検討中                     | -         | -                                    | -       | -       | -            | -       | -   | 過去の施策なし   |   |   |   |   |
| 群馬県   | 検討中                     | -         | -                                    | -       | -       | -            | -       | -   | 過去の施策なし   |   |   |   |   |
| 埼玉県   | 検討中                     | -         | -                                    | -       | -       | -            | -       | -   | 彩の国有機100倍運動<br>※有機農業に特化した政策ではなく、環境保全型農業全体の施策として実施   | 平成9年度-  | 農業と化学肥料を削減する。   | 特別栽培農産物認証制度の設置<br>減農薬・減化学肥料栽培に取り組む産地の育成<br>普及指導員による技術支援<br>消費者と生産者の交流会の開催<br>試験研究機関での技術開発   |   |
| 千葉県   | 検討中                     | -         | -                                    | -       | -       | -            | -       | 実施  | 平成17年度 大地のめぐみ有機農業実証事業   | 平成17年度  | 本県における有機農業の生産実態を把握するとともに、有機農業に資する技術の実証展示を行うことにより、安定生産と省力化に向けた可能性を検討する。  | 有機農業による生産の実証調査<br>有機農業技術実証展示ほ場の設置<br>有機農業促進交流会の開催   | 主な有機農業実践者(JAS認定未取得者を含む)の生産実証調査<br>実証展示ほ場の設置<br>現地視察(実践優良農業者、組織)及び講演会  |

| 都道府県名 | 施策実施の予定について<br>(問4及び問5)                                      | 施策のカテゴリー<br>(問3:上段 及び 問6:下段) |    |    |         |         |         |         | 施策内容 |  |              | 実施内容   | 評価  |  |  |
|-------|--|------------------------------|----|----|---------|---------|---------|---------|------|--|--------------|--|---|--|--|
|       |  | 有機農業者への支援                    | 技術 | 広報 | 消費者との交流 | 生産者との交流 | 実施の実地調査 | 民間活動の支援 | その他  | 計画名  | 実施期間         |  |   | 目的   |  |
| 東京都   | 有機農業推進法への対応<br><br>20年度以降の取り組み実施に向け、事業の内容、予算措置等について検討を行っている。 | 実施                           | 実施 | 実施 | 検討中     | 検討中     | 検討中     | 検討中     | 検討中  | 東京都有機農業推進事業                                    | 平成6-16年度     | 有機農業のモデル生産団地を設置して、有機農業の確立・普及の拠点とするとともに、家畜ふん尿等の有効利用による畜産経営の安定と生産環境の改善をねらった事業を実施する。(東京都有機農業推進事業実施要綱)         | 1) 実施期間中に、都内に合計12の有機農業モデル生産団地を指定し(農家数99戸 約1.2ha)、減農薬・減化学肥料栽培の取り組みに対して支援。<br>支援対象のうち4団地が無農薬無化学肥料栽培に移行し、有機農業に取り組みだ(農家数18戸 約1.2ha)<br>2) 平成9-16年度に、東京都農業試験場(現・農林総合研究センター)の試験成果等を基に16品目について有機農産物特別栽培指針(無農薬・無化学肥料栽培)を、24品目について一般栽培指針(減農薬・減化学肥料栽培)を策定し、有機農業生産モデル生産団地の構成農業者等に技術指導を行った。<br>3) 東京都有機農業堆肥センター(現・(財)東京都農林水産振興財団 有機農業堆肥センター)において優良たい肥を生産し、有機農業生産モデル生産団地の構成農業者に無償頒布。 | 1) 2) 3) 団地の構成農業者には、事業終了後に特別栽培認証農産物の生産に取り組んでいる方も多く含まれる等、本事業が農業者、及び地域の技術と意識の向上につながったものと考えている。<br>3) 東京都有機農業堆肥センター(現・(財)東京都農林水産振興財団 有機農業堆肥センター)において優良たい肥を生産し、有機農業生産モデル生産団地の構成農業者に無償頒布しました。 |  |
| 神奈川県  | 有機農業者についての現状把握、生産量を低下させない技術確立から始める必要があるため                    | -                            | -  | -  | -       | -       | -       | -       | -    | 過去の施策なし  |              |  |   |  |  |
| 山梨県   | 検討中  | -                            | 検討 | -  | -       | -       | -       | -       | -    | 試験研究機関における技術実証                                 | 平成19-21年度    | 有機農業推進法の施行を受け、多くの農業者が有機農業に取り組めるよう、総合農業技術センターにおいて野菜類の有機栽培技術の研究・実証に取り組む。                                     | 野菜栽培において緑肥作物や混作、被覆作物による虫害軽減効果について検討し、耕種的防除を実証する。  |  |  |
| 長野県   | 検討中  | 実施                           | -  | -  | -       | -       | -       | -       | -    | 自然と共生する実践農業者支援事業奨励金                            | 平成18-19年度    | 有機JAS認証を受ける農家の支援   | 有機JAS認定経費の2分の1以内(新規初年度のみ6万円を上限)。県予算額 600千円(19年度)  | 支援を受けた農家からは好評であった。   |  |
| 新潟県   | 検討中  | 検討                           | 検討 | 検討 | 検討      | 実施      | 検討      | -       | -    | 計画名はありませんが、本年度は、県内の有機農業の実態把握を行うための現地調査を実施する予定。 | 平成19年8月頃     |  |   |  |  |
| 富山県   | 検討中  | -                            | -  | -  | -       | -       | -       | 実施      | -    | エコ農業実践支援事業                                     | 平成18-22年度    | 有機栽培(無農薬・無化学肥料)や園芸作物などの減農薬・減化学肥料栽培に取り組む生産グループ等の活動を推進し、環境にやさしい農業の輪の拡大を図るとともに、県産農産物のイメージアップに資する。             | 支援対象：全構成員がエコファーマーであるか又は有機農業に取り組み、広域的に組織化された生産者団体<br>支援活動の内容：<br>農薬・化学肥料の大幅な使用削減等の技術実証<br>環境にやさしい農業等に関する検討会・研修会の開催<br>直売、店頭販売等、こだわり農産物の販売促進活動の実施<br>農作業体験、試食会の実施等、消費者や飲食業者との交流のほり旗、ポスター・チラシなどPR資材・資料等の作成<br>予算：標準事業費200千円×補助率1/2(県)×5団体=500千円 ※市町村は持ち出しなし  |  |  |
| 石川県   | 検討中  | -                            | -  | 検討 | -       | -       | 検討      | 実施      | -    | 「環境にやさしい農業技術推進事業」のうち「有機農産物等生産振興」               | 平成13年度-      | 有機農産物等の生産者に対する技術向上研修や啓発、消費者等との交流などを行う団体の活動を支援し、環境にやさしい農業の技術普及と適正な表示制度の周知に資する。                              | 技術講習会<br>消費者交流会の実施<br>市場、生活協同組合との意見交換会の実施   |  |  |
| 福井県   | 検討中  | 実施                           | -  | 実施 | 実施      | -       | -       | -       | -    | 福井県特別栽培農産物認証制度                                 | 平成13年度-      | 慣行と比較し化学合成農薬や化学肥料を削減して栽培された県産農産物について、基準を設け認証することにより、これらの農産物に対する消費者の信頼性の向上と、環境にやさしく、持続的な農業の発展を図る。           | 次の区分により農産物の認証を行う<br>認証区分1) 栽培期間中不使用 農薬 有機農業<br>認証区分2) 栽培期間中不使用 当地比5割以上減<br>認証区分3) 当地比5割以上減 栽培期間中不使用<br>認証区分4) 当地比5割以上減 当地比5割以上減   | 本事業を実施して6年経過し、有機農業の実施面積(JAS有機+認証区分1)が徐々に増加している。  |  |
| 静岡県   | 検討中  | 検討                           | 検討 | 検討 | 検討      | 検討      | 検討      | -       | -    | 過去の施策なし  |              |  |   |  |  |
| 愛知県   | 検討中  | 実施                           | -  | -  | -       | -       | -       | -       | -    | 愛知県環境保全型農業推進基本方針                               | 平成6年-        | 農業の物質循環機能を生かしながら、化学肥料、農薬等の資材の使用に伴う環境への影響をできる限り軽減し、環境の保全と生産性の維持・向上が調和した「環境保全型農業」を県、市町村及び関係団体が一体となって幅広く推進する。 | 「平成9年を基準として、概ね10年間で化学肥料、農薬の使用を有効成分、使用量、使用回数等を考慮して概ね2割低減する」という目標を掲げ、下記項目について推進。<br>意識啓発<br>技術確立と普及<br>条件整備(関連事業の活用により堆きゅう肥製造施設、土壌・病害虫診断施設等、環境保全型農業普及のための条件整備)<br>※有機農業についても、同方針において、環境保全型農業の一つとして位置づけ、条件の整った地域での活動を支援している。   | 化学肥料・農薬の削減状況については、17年数値で窒素肥料が23%減、農薬が25%減となり、環境に配慮した農業の取組は徐々に浸透していると考えている。<br>一方、化学肥料、農薬を全く使用しない有機農業については、技術的な難易度が高いことから、あまり広まっていない。   |  |
| 岐阜県   | 検討中  | 実施                           | -  | -  | -       | -       | -       | 実施      | -    | 登録認定機関として有機JAS認定業務を行っている。有機農業者交流会(仮称)          | 平成12年~平成19年~ | 県内有機農業者の生産意欲を効用を図り、県民に安全・安心な農産物を提供する。有機農業者の情報交換を促進する。  | 有機JAS認定業務(認定、講習会開催)講演会(または検討会等)を開催(詳細は未定。)  | これまで15名有機JAS認定を行ってきたが、平成19年度末現在認定者数は10名と伸び悩んでいる。   |  |
| 三重県   | 2)実施するか否かの協議で止まる<br>× これからの協議によって施策をどのようにするか決定する。            | -                            | 実施 | -  | -       | -       | -       | -       | -    | 資源循環型農業技術の確立と環境修復に関する研究                        | 平成12-16年度    | 県育成病害抵抗性品種を活用した有機農産物生産に向けた技術開発   | 有機米生産技術の確立(品種:みえゆめ)。<br>有機野菜(イチゴ)生産技術の確立(品種:サンチーゴ)  | 環境保全型農業技術の確立を目指して、家畜ふん堆肥の循環利用と省農薬を主目的とした技術開発が行われた結果、部分的には現場に普及できる技術が確立されたものの、有機農業の栽培体系の確立には至っていない。   |  |

| 都道府県名 | 施策実施の予定について<br>(問4及び問5) |           | 施策のカテゴリー<br>(問3:上段 及び 問6:下段) |         |         |          |         |     |  | 施策内容   |   |  | 実施内容  | 評価 |
|-------|-------------------------|-----------|------------------------------|---------|---------|----------|---------|-----|--|--|---|--|---|----|
|       | 有機農業推進法への対応             | 有機農業者への支援 | 技術                           | 消費者への広報 | 生産者との交流 | ためた実施の調査 | 民間活動の支援 | その他 | 計画名  | 実施期間   | 目的  |  |   |    |
| 滋賀県   | 検討中                     | 実施        | 実施                           | -       | 実施      | 実施       | -       | -   | 環境農業直接支払交付事業<br>※いずれも有機農業に限って実施しているものではなく、環境こだわり農業の一環として有機農業を含めて実施。    | 平成16年度-  | 消費者が求める安全で安心な農産物の供給と自然循環機能の維持増進、および琵琶湖等の環境保全などの公益的な価値を生み出す環境こだわり農業を県内全域へ普及・拡大するため、農業者等に対して環境農業直接支払い交付金を交付する。  | 次の基準により農作物を栽培することについて、農業者等と知事が協定を締結し、その履行が確認された場合に交付金を交付。<br>ア 化学合成農薬および化学肥料の使用量を通常の5割以下とすること。<br>イ たい肥その他の有機質資材を適正に施用すること。(上限の基準)<br>ウ 農業排水を適正に管理すること。<br>エ その他環境との調和に配慮した措置を講ずること。   | 当事業の創設により、県内における環境こだわり農業の取り組み面積が、大幅に増加。<br>H15年度 1224ha<br>H16年度 2568ha<br>H17年度 4532ha<br>H18年度 5960ha |    |
| 京都府   | 検討中                     | -         | -                            | -       | -       | -        | -       | -   | 過去の施策なし  |  |   |  |   |    |
| 奈良県   | 検討中                     | -         | -                            | 実施      | 実施      | -        | -       | -   | 有機農業推進事業   | 平成7-10年度   | 有機農業者の栽培技術向上と消費者との交流推進により、有機農業の経営安定を図る。   | 有機農業技術についての情報交換<br>技術研修会の開催<br>有機農業生産者グループと消費者との交流並びに有機農産物の消費者へのPR等  | 有機農業者の栽培技術向上と消費者へのPR促進が図られた。  |    |
| 和歌山県  | 検討中                     | -         | -                            | -       | -       | -        | -       | -   | 過去の施策なし  |  |   |  |   |    |
| 大阪府   | 検討中                     | -         | -                            | -       | -       | -        | -       | -   | 過去の施策なし  |  |   |  |   |    |
| 兵庫県   | 検討中                     | -         | -                            | -       | 実施      | -        | 実施      | 実施  | 無回答  | 無回答  | 無回答   | 無回答  | 県独自の有機認証の実施（有機JAS以前）<br>フォーラムの実施等   |    |
| 岡山県   | 既存の施策で対応可能              | 実施        | 実施                           | 実施      | 実施      | 実施       | 実施      | 実施  | 現在意識調査等を実施中であり、具体的内容は未定(すべてについて可能性ありとなります)<br>該当名なし                    | 1)平成13年-   | 1) 国の有機JAS規格よりもさらに厳しい基準による「おかやま有機無農薬農産物」を独自に認定することで、本当に安心して味わえる、健康的でおいしい農産物を消費者に届ける。  | 1) おかやま有機無農薬農産物の認定<br>2) 入門研修会を実施(対象は県内在住者)<br>3) 有機無農薬農産物栽培指針(改訂版)により指導。<br>4) リーフレット等を取り扱い店に配布<br>5) 有機農産物フェア等を開催(県等主催)<br>6) 生産者の交流会(作業・収穫体験)等を援助。<br>7) 有機農産物フェア等で消費者意識調査を実施。<br>8) 生産者連絡協議会及び登録認定機関の活動支援<br>9) 生産者団体の生産条件整備などを支援(補助事業)  | 1) わずか5年で生産集団、生産量は1.5倍に。消費者の中にはリーダーも多く、取扱店も県外に広がっている。   |    |
| 広島県   | 2)実施するか否かの協議で止まる        | -         | -                            | -       | -       | -        | -       | -   | 同上   | 同上   | 同上  | 同上   | 同上  | 同上 |
| 鳥取県   | 平成20年度予算を計上予定           | 実施        | 実施                           | 実施      | 実施      | 実施       | 実施      | -   | 該当名なし  | 平成14年度-(有機農業生産者と消費者との交流会)<br>平成16年度-(鳥取県特別栽培農産物認証制度)       |   | 有機農産物等の登録機関となり、県内生産者を対象に認定業務を実施。<br>生産者補助一チャレンジプラン支援事業費補助金。<br>有機農業に係る技術開発の実施(7品目について実施)<br>消費者への広報・啓蒙(新聞・ケーブルテレビCM・消費者グループのイベントでの特設・有機認証マーク・制度のPR/生産者との交流会)<br>県主催有機農産物等生産者研修会等講習会にて有機農業に関する意識調査・申請予定者調査を実施(毎年)<br>有機・特別栽培生産者から現状と課題の調査を実施予定<br>県主催商談会情報を有機・特別栽培生産者に紹介し、販売活動への支援を実施<br>民間の有機農業推進活動の支援(平成18年度、県内の有機生産者グループがこの補助事業を活用、有機栽培セミナーを実施)  |   |    |
| 鳥根県   | 検討中                     | 実施        | 実施                           | 実施      | 実施      | -        | 実施      | 実施  | A-Fについてはすでに実施しているが、本年度、有機農業推進計画の策定に向け、有機生産者等から聞き取り調査を行い、具体的な施策を検討する予定。 | 1)平成17-18年<br>2)平成17年-<br>3)平成16年-<br>4)平成19年-<br>5)平成20年- | 4) 農業生産活動においては、肥料の流出などが宍道湖・中海の水質汚濁の原因の一つとして考えられるなど環境への負荷が指摘されており、農業のもつ自然循環機能の維持増進を図ることが求められている。また、消費者の安全・安心志向は年々高まってきており、「しまね食と農の県民条例」(平成19年2月23日条例第4号)を制定し、県民の健やかで豊かな暮らしの根幹である食・環境などを支える農業及び農村の持続的な発展を県民と一体となって推進することを旨としているところである。<br>これらのことから、農業生産活動及び農産物の流通・消費活動の中で、環境への負荷軽減と生物の多様性の確保を図り、将来にわたって健全な県土保全につながる農業の展開を県民全体が共通認識の下に推進するため、本事業を実施する。 | 1) 有機JAS認証支援。有機農産物等生産実践モデル支援(安全安心な農産物生産者の栽培技術導入実証費用、先進事例調査費用等を1/2以内で補助。等)<br>2-A) 一定の評価がなされている有機農業技術等の現地実証ほを設置し、技術の普及を図る。<br>2-B) 県内各地での有機農業等取り組み拡大に向け、主要な取組地域における研修会開催等を実施。<br>2-C) 県内取組者の拡大、ネットワーク構築を目的とした「有機農業研究大会」の開催。<br>消費者理解促進を図るためのPR活動(新聞広告、イベントパネル出展等)を実施。<br>3) 環境にやさしい農業技術の県内普及を図るため、県内各地において技術実証・展示ほ場を設置。<br>4) 農業生産活動及び農産物の流通・消費活動を通して、環境への負荷軽減と生物の多様性の確保を図り、将来にわたって健全な県土保全につながる農業の展開を、県民全体が共通認識の下に推進。<br>5) 除草剤を使わない水稲栽培技術の開発、環境負荷軽減のための水稲の新たな病害虫防除対策試験の実施。 |   |    |

| 都道府県名 | 施策実施の予定について<br>(問4及び問5)   | 施策の 카테고리<br>(問3:上段 及び 問6:下段) |    |         |         |          |         |     | 施策内容   |                                |  | 実施内容  | 評価   |    |
|-------|---------------------------|------------------------------|----|---------|---------|----------|---------|-----|--|--------------------------------|--|---|--|----|
|       |                           | 有機農業者への支援                    | 技術 | 消費への広がり | 生産者との交流 | ための実施の調査 | 民間活動の支援 | その他 | 計画名  | 実施期間                           | 目的   |   |  |    |
| 山口県   | 検討中                       | -                            | -  | -       | -       | -        | -       | -   | 過去の施策なし  |                                |  |   |  |    |
| 徳島県   | 検討中                       | 実施                           | -  | 実施      | 実施      | -        | -       | -   | 有機農産物認証制度支援事業  | 平成16年度-                        | 有機農産物の認証に係る経費削減を図る。<br>有機農産物認証制度の普及と有機農産物の定着化を図る。  | NPO法人徳島県有機農産物認証協会への支援による認事務の円滑化。<br>有機農産物認証制度のPR。<br>有機農産物生産者、加工・流通業者、消費者の交流促進。   | 県内における有機農産物認証経費の負担削減が図られている。消費者等への有機農産物の理解が深まっている。   |    |
| 香川県   | 検討中                       | 実施                           | 実施 | -       | -       | -        | -       | -   | 1) 特別栽培農産物等に関する技術支援事業。<br>2) 化学合成農薬を減らした病害虫の総合防除技術等の確立研究。          | 1) 平成5年度-<br>2) 平成6年度-         | 1) 特別栽培農産物等の生産振興のため、技術支援を行う。<br>2) 化学合成農薬以外の防除法の検討を行う。   | 1) 特別栽培農産物等の生産振興のため、栽培計画策定等の支援を行う。<br>2) 防虫ネット利用、天敵利用、光反射シート利用、太陽熱消毒技術、拮抗微生物利用等による病害虫の発生・防除効果の研究  |  |    |
| 愛媛県   | 検討中                       | -                            | 実施 | -       | -       | -        | -       | -   | 特産野菜の有機農業技術開発  | 平成元年-3年                        | 安全な野菜を求める消費者ニーズに対応するため、農業・化学肥料を使用しない特産野菜(レタス・キャベツ)の栽培技術を開発する。  | レタス・キャベツともに堆肥、ナタネ油粕等を使用、またタワベルによるトンネル状被覆、シルバーポリマルチによる畦面被覆により栽培。   | レタス…収量は慣行区を上回った。結球葉のBrix、乾物率は慣行区を下回った。作業時間は慣行区の1.4倍。第一次生産費は1.6倍であった。キャベツ…収量は慣行区と同程度。結球葉のBrixは慣行区を下回った。販可株率は慣行区を上回った。作業時間及び第一次生産費は慣行区の1.7倍であった。                           |    |
| 高知県   | 平成20年度予算を計上予定             | 実施                           | 実施 | 実施      | 実施      | 実施       | 実施      | -   | 「高知県環境保全型農業総合推進プラン・有機農業技術の体系化と実践農家への支援」                            | 平成19-23年<br>(補助金については平成19-21年) | 増加傾向にある有機農業実践農家に対し、栽培技術を含め支援を行う。平成18年12月8日に成立した有機農業推進法に基づき、本県の有機農業推進計画を定める。  | 環境保全型農業につながる農業技術や機械の導入、有機JAS認定取得等についての補助。<br>有機農業生産実態調査(平成19年8月頃実施予定)。<br>NPOとの協働による有機のがっこう「土佐自然塾」の設置、運営支援。<br>有機のがっこう「土佐自然塾」の研修修了生への就業支援。<br>有機のがっこう「土佐自然塾」における有機農業実践農家技術の栽培実証。<br>有機農業実践農家の技術蓄積と情報収集。<br>環境保全型農業畑作振興センターにおける栽培技術のマニュアル化(栽培実証、経営実証)。<br>有機農業推進計画の策定、施策の推進と定期的な見直し。<br>環境保全型農業PRイベント作成と消費地でのイベント開催。<br>消費者及び流通関係者と産地の交流を支援する出前授業の開催。<br>おいしい風土こうさつセンターを中心とした産地消費民運動。<br>グリーンツーリズムによる交流支援。 | 現在進行中  |    |
| 福岡県   | 検討中                       | -                            | -  | -       | -       | -        | -       | -   | 同上   | 同上                             | 同上   | 同上  | 同上   | 同上 |
| 長崎県   | 検討中                       | -                            | -  | -       | -       | -        | -       | 実施  | 有機農産物等認証制度支援事業   | 平成13-15年度                      | 認証機関の検査員の養成  | 研修等に要する経費に対する補助   |  |    |
| 佐賀県   | 検討中                       | 実施                           | -  | 実施      | 実施      | 実施       | 実施      | -   | 1) 魅力あるさが園芸農業確立対策事業<br>(人と環境にやさしい園芸農業拡大対策事業)<br>2) 有機農業等環境保全向上対策事業 | 1) 平成16-20年度<br>2) 平成19-23年度   | 1) 消費者が求める、より安全・安心な園芸作物の生産と環境にやさしい農業の推進に向け、有機栽培、特別栽培、エコ農業等の取組み拡大を図るとともに、競争力のある収益性の高い園芸農業の確立に向け、本県園芸農業を担うプロ農業者を育成し、高品質化・低コスト化・規模拡大・省力化等の取り組みを拡大することにより、消費者にとつて、また、生産者にとつても、魅力ある園芸農業を確立する。<br>2) 有機農業の普及と、環境保全型農業の普及・拡大を進める上で大変重要な役割を果たすことが期待される有機農業者の支援 | 1) 有機農産物・特別栽培農産物・エコ農産物の生産に必要な機械・技術等の整備に対する助成<br>2) 「さが有機農業塾」の開催<br>有機農業者のネットワークづくり<br>有機農業等に関する情報発信<br>有機農業普及活動支援(CSO活動支援事業)<br>有機農業者への支援(有機JAS農家への助成)  |  |    |
| 熊本県   | 検討中                       | -                            | -  | -       | -       | -        | -       | 実施  | 熊本県食料・農業・農村計画<br>※有機農業を含めた環境保全型農業の推進                               | 平成17-27年度                      | 安全で環境に配慮した環境保全型農業の普及推進   | 1) くまもとグリーン農業に対する消費者の理解促進と耕畜連携による堆肥の広域流通促進<br>2) 構築連携による堆肥の広域流通促進   |  |    |
| 大分県   | 平成20年度予算を計上予定             | -                            | -  | -       | -       | -        | -       | -   | 過去の施策なし  |                                |  |   |  |    |
| 宮崎県   | 実施を含めて検討する予定。             | -                            | -  | -       | -       | -        | -       | -   | 減化学農薬・減化学肥料栽培を目的とした特別栽培等の環境保全型農業の推進は実施している。                        |                                |  |   |  |    |
| 鹿児島県  | 実施<br>(有機農業推進施策のための調査の実施) | 検討                           | 検討 | 検討      | 検討      | 検討       | 検討      | -   | 過去の施策なし  |                                |  |   |  |    |
| 沖縄県   | 検討中                       | -                            | 実施 | -       | -       | -        | -       | -   | 有機農業推進事業   | 平成11-15年度                      | 有機農業の推進  | 有機農業の技術の確立と指導   | 「沖縄県有機野菜栽培指針」を策定したが、現場ではコスト的な課題があり、十分な普及に繋がっていない。このため、県としては、化学肥料と化学農薬の使用について3割削減を目標としたエコファーマーの育成、5割削減を行う特別栽培農産物の認証を進めながら、環境保全型農業の推進を段階的に進めており、有機農業についてもその延長上にあるものと考えている。 |    |
|       |                           | -                            | -  | -       | -       | -        | -       | -   | 検討中  |                                |  |   |  |    |